

(添付資料)

損益計算書の注記

1. 重要な会計方針は別記している。

	18年9月中間期	17年9月中間期	18年3月期
2. 特別利益の主な内訳			
固定資産売却益	5,969百万円	0百万円	0百万円
厚生年金基金代行返上益	—	10,698	10,698
退職給付信託設定益	9,112	—	—
3. 特別損失の主な内訳			
減損損失	—	1,625	1,625
4. 営業費用に含まれる研究開発費	19,532	19,973	41,012
5. 減価償却実施額	3,710	3,333	7,039
6. 支払リース料	2,649	2,482	5,201

貸借対照表の注記

1. 重要な会計方針は別記している。

	18年9月中間期	17年9月中間期	18年3月期
2. 有形固定資産の減価償却累計額	51,405百万円	47,910百万円	52,480百万円
(注) 減損損失累計額を含めている。			
3. 保証債務額	1,460	1,376	1,200
4. 設備投資の実施額 (リース契約を含む)	6,959	5,885	14,480

株主資本等変動計算書の注記

平成18年9月中間期

1. 自己株式に関する事項

	18年3月期	増加	減少	18年9月期
普通株式 (株)	14,631,607	4,168,678	222,899	18,577,386
合計	14,631,607	4,168,678	222,899	18,577,386